

## 平成28年度 入学式式辞

大阪国際大学、大阪国際大学短期大学部、及び留学生別科、並びに大学院に入学されました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんのご入学を心からお祝い申し上げます。また、今日の日を心待ちにされていたご家族の皆様にも心からお慶び申し上げます。

そして、本日は奥田理事長をはじめ、大阪国際学園の理事、名誉教授、同窓会長といったご来賓の方々にもご臨席を頂いております。お忙しい中、お越し頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

皆さんには、こうした多くの方々の祝福と期待を胸に刻み、時にそれを力に変えながらこれからの学生生活を生き生きと有意義に過ごされることを期待しています。

さて、本学の前身は、1929年の帝国高等女学校の設立にさかのぼり、今年で創立87周年を迎えます。

学園の創設以来、「明るい心、清き心、直き心、優しい心、強き心」を祖として、どのような時代の移り変わりにも動かぬ人間教育、すなわち「人間を人間らしく育てる」とする、いわゆる『全人教育』を建学の精神とし、『礼節を重んじ、世界に通じる心豊かなグローバル人材の育成』を旗印に教学に勤しんで参りました。

今、私たちは、かつて経験したことのない時代を生きています。インターネットに代表される今日の高度情報化社会では、世界の人々との交流は一昔前には考えられなかったほどに活発になりました。日本は急速に進む少子高齢化、未曾有の財政赤字、原発・エネルギー問題、格差問題、5年前に起きた東日本大震災の復興問題など未来は予測しがたい状況です。また、世界に目を向けると、至る所で宗教対立、民族紛争、国境・資源を巡る紛争、テロ事件などが勃発しています。

そして、企業・産業界のビジネス活動は、国境の枠を超えて、世界市場を縦横に駆け巡るといふまさにグローバル社会に突入しています。直近では減速気味の中国経済、原油安資源問題、世界的な株価・金融不安定化など益々と不確実な予測しがたいグローバル時代を迎えています。今後、日本・日本人に求められるのは、こうしたグローバル化への対応であり、一人ひとりがその対応を求められる時代を迎えております。

こうしたグローバル社会での活躍が期待される人材育成の要請を受け、本学は平成26年度にグローバルビジネス学部を新設し、昨年4月から「国際教養学部」もスタートしております。皆さんの先輩は、卒業後、国際社会で活躍できるようにと、授業や学生生活を通して日々頑張っています。

さて、入学後、皆さんはそれぞれに専門分野における学問、技能の習得などに取り組んでいかれるわけですが、これまで皆さんが学習してきた考え方や取り組み方はいったんご破算にして下さい。というのも、大学や短大に於ける教育は、高校までのものとは大きく異なります。

高校までは教科書の内容を覚えたり、問題集を解くことを中心に励んでこられました。しかし、大学・短大に於ける教育は「考えるべき問題を自分で見つけ出し、想定外の困難に際して的確な判断をする能力」を身に付けていくところです。ピンとこないかもしれませんが、授業やクラブ活動、海外研修やボランティア活動などといった学内外での活動に積極的にチャレンジや参加をし、様々な問題や課題を実践的に解決していく力を養って欲しいということです。

その中で人生観や価値観を構成し、将来の生き方の方向性を見極めて頂きたいと思います。

今はまだ皆さんは不安でいっぱいだと思います。ですが、本学は学生の皆さんと教職員の距離が近いことも特徴のひとつです。本学の教職員が親身になって皆さんをバックアップしますので、困ったことがありましたらいつでも相談して下さい。

若い皆さんの力をどれだけ伸ばし、社会に送り出すことができるのかが、本学の教育力であると自覚しています。大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部では、『あなたを』、『君を』大切にします。

私の好きな言葉は、『人間は皆、磨けば光り輝くダイヤモンドの原石である』というパナソニックの創業者、松下幸之助の言葉です。

若い『あなた』・『君は』まさにダイヤモンドの原石なのです。そんな『無限の可能性のある』皆さん、大事な事は、自分が今からの2年間・4年間、何をやるかです。

入学式の本日、学長として《三つの強い希望》を申し上げます。

一つ目は、最低一度は、それも早めに海外に飛び出して欲しいということです。英語が苦手でもOK・先ず海外に出てみることに。きっと視野が広がり皆さんの人生の見方が変わるはず。必ずや新鮮な発見・気づきがあります。

本学には、他の大学にはない海外研修のプログラムがあります。例えば、バリ島やタイにおけるホテルインターンシップ、シンガポールでの企業研修やスポーツ交流研修、ベトナムにおける文化交流研修、カンボジア・インドネシアでのボランティア研修など、他にも海外に接するプログラムはたくさん用意しています。また、短大の皆さんにも独自のバンクーバーでのインターンシップやシドニーでの幼児保育実習などの研修があります。

昨年度の一年間では約300名の学生達が何らかの海外留学や研修に参加しました。ほとんど英語もできないうえ、海外に行ったことすらなかった学生が、研修に参加した後の生き生きとした姿や、嬉しそうに報告をしてくれる時は、私達教職員にとっても、非常に嬉しいことです。出発前にはなかった自信や成長ぶりには目を見張るものがあり、それは若い今だからこそ身に付くことでもあります。

皆さんも、是非、どんどんチャレンジして欲しいと思います。

二つ目は、必ず一つはクラブに入って欲しいということです。仲間を作って下さい。スポーツでも音楽やダンス・お茶や生け花などの文化クラブでも良いです。私は学生時代、運動は苦手だったので、英語のクラブ(E S S)に入りました。そのお蔭でパナソニックに入社でき、マレーシア・シンガポールでの8年間の駐在を含め、40年間世界中を飛び回るグローバルビジネスマン

として自分の学生時代の夢をかなえました。

クラブ活動は絶対的に就職にも有利ですが、何より楽しく、人間的にも大きく成長しますし、卒業後も仲間との友情は一生の思い出となるでしょう。

三つ目は、本学は地域に貢献し、愛される大学・短大を目指しています。地元守口、門真、寝屋川、枚方、そして京都の南山城村などの9つの自治体や団体との連携を強めています。

昨年の10月には京都で唯一の村である南山城村に古民家を改修し「薫笑庵」という活動拠点をつくりました。地元のお祭りに参加したり、夏休みに小学生を集めてサマースクールを実施するなど、ボランティアとしての色々な活動を企画しています。こういった活動に積極的に、勇気を出して参加することで、地域住民や子供たちとの交流を通して自らも自主性・コミュニケーション力・企画力などを身に付け、大きく、逞しく成長して欲しいと思います。

そして地域との繋がりに関連して言いますと、本学はプロサッカーチームのガンバ大阪と協定を結んでいます。この協定を結んだことで、ガンバ大阪が主催する様々なイベントに参加・協力する機会もあります。また、関西国際空港との訪日外国人観光客に対するボランティア活動もあります。通常ではあまりないチャンスですので、興味のある方はどんどん参加して頂きたいと思います。別科を含む留学生の皆さんも積極的に参加して下さい。

さて、もう一度、皆さんに対する私の三つの希望を繰り返します。

- ① 思い切って一度は海外へ飛び出す事
- ② 必ず一つはクラブに入る事
- ③ 地域交流に積極的に参加する事。

この三つの事に必ず挑戦して下さい。本学は『あなたの・君の挑戦』を全面的にサポートします。

「学生生活は、瞬く間に過ぎます。皆さんには、勉学に励みながら三つの事にチャレンジしてもらい、光り輝くダイヤモンドとなり、是非とも『あなたの・君の』夢を掴んで下さい。今日がその夢実現に向けた第一歩、初日であります。皆さん、高き志をもって共に歩んでいきましょう。」

Your time here, whether at Osaka International University or Osaka International College, whether 4 years or 2 years; will pass quickly.

Study well, study hard and challenge three things so that you can become a sparkling diamond. Work hard to make your dreams a reality.

This is your first day and it is our first step together on the path to the fulfillment of your dreams. Let's walk together with high aspiration.

最後に、これから皆さんが有意義な楽しい学生生活を送られることを心から祈念して、私の本日の式辞といたします。

平成28年4月2日

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部

学長 宮本 郁夫